

製品名: ヘアレスウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11889**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	130kDa

抗原情報

遺伝子名	HR
別名	HR; Protein hairless
遺伝子 ID	55806.0
SwissProt ID	O43593
免疫原	抗血清はヒト毛髪由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 41-90

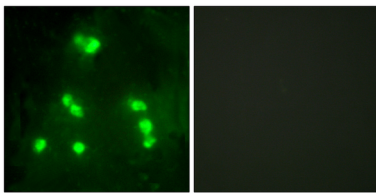
背景

この遺伝子は、発毛に関与するタンパク質をコードしています。このタンパク質は、甲状腺ホルモン受容体、レチノイン酸受容体関連オーファン受容体、ビタミン D 受容体など、複数の核内受容体の転写コリプレッサーとして機能し、ヒストン脱アセチル化酵素と

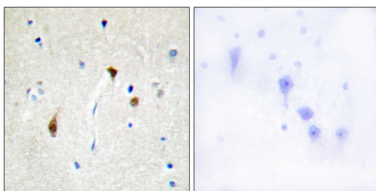
相互作用します。このタンパク質の翻訳は、主要な ORF の上流に存在する調節性オープンリーディングフレーム (ORF) によって制御されます。この上流 ORF の変異は、常染色体優性遺伝性の脱毛症であるマリー・ウンナ遺伝性貧毛症 (MUHH) を引き起こします。この遺伝子の変異は、常染色体劣性遺伝性の先天性脱毛症や丘疹性病変を伴う無毛症など、脱毛につながる他の疾患も引き起こします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つかっています。 [RefSeq 提供、2014 年 10 月], 代替製品: 追加のアイソフォームが存在する可能性がある, 疾患: HR の欠陥は、先天性全身性脱毛症 (ALUNC) [MIM:203655] の原因です。ALUNC は、毛包に毛がないことを特徴とする、まれな常染色体劣性脱毛症です。; 疾患: HR の欠陥は、丘疹性病変を伴う無毛症 (APL) [MIM:209500] の原因です。これは先天性無毛症としても知られています。APL は、体の大部分に乳頭病変が見られ、毛髪がほぼ完全に消失する常染色体劣性疾患です。; 機能: 毛髪成長の段階の 1 つを制御する転写因子として作用する可能性があります。; 類似性: JmjC ドメインを 1 つ含みます。; 組織特異性: アイソフォーム 1 と 2 の発現は小腸で最も強く、脳と結腸ではより弱く、肝臓、膵臓、脾臓、胸腺、胃、唾液腺、虫垂、気管では微量の発現が見られます。アイソフォーム 1 は常に最も豊富です。アイソフォーム 1 は腎臓と精巣でのみ低レベルで発現し、アイソフォーム 2 は皮膚でのみ高レベルで発現します。;

研究分野

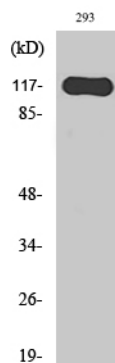
画像データ



HAIR 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



HAIR 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



1: 1000 に希釈した Hairless ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。